

(提案:今岡氏)

いきいきとした暮らしへの貢献に関する灰塚ダム・ハイヅカ湖の現状

【治水機能発現状況】

自然調節方式による確実な洪水調節により灰塚ダム下流の河川沿川における洪水被害を軽減する機能を有す。

平成 18 年 7 月 19 日の洪水では最大流入量 500m³/s を 3 割程度にまで調節し、上下川の水位を 1m 以上低下させた。

【利水機能発現状況】

灰塚ダム下流で必要とされる用水確保のため補給を実施。

【環境機能発現状況】

灰塚ダムの下流河川での魚類の生息等に必要な水量確保のため補給を実施。
本年 3 月にフラッシュ放流を試行しアユの餌場環境を改善。

【堤体の利用状況】

ダム見学に多数来場。
ライトアップは特に好評
地域の情報も掲示板により発信中。

【ハイヅカ湖の状況】

バスを中心とする魚釣り利用が多い。
ウェットランドは地域の小学生の学習等に活用されている。
アオコが発生したが、昨年度よりは改善傾向。
陸封アユの出現
水鳥が多数飛来
ミサゴなどの猛禽類も多く豊かな自然環境が伺える。
ブラックバスなど外来魚が生息。料理、堆肥化など有効利用試行中。
公園はグランドゴルフなど健康づくりの場として利用されている。
貴重種保全などの環境保全のとりくみが高く評価されている。
ゴミ、雑草への対応も管理課題。